ボーリング柱状図

調査名 高宮南特別緑地保全地区地質調査業務委託

ボーリングNo. 5 0 3 0 2 3 7 3 0 0 1

事業・工事名 _____

シートNo. _____

ボーリング名	1		調査位置	福岡市南区高宮五丁目地内			北緯	33° 33' 48.9"			
発注機関	福岡市住宅都市局みどりのまち推進部			調査期間	平成28年7月8日～平成28年7月14日			東経	130° 24' 49.1"		
調査業者名	フジサンプラー株式会社 tel 608-3738		主任技師	古賀新也		現場代理人	柳原保	コア鑑定者	柳原保	ボーリング責任者	野見山孝人
孔口標高	T.P 18.63m	角			方			地盤勾配	0° 鉛直		
総掘進長	10.00m		使用機種	試錐機 東邦D-0 エンジン ヤンマーNFD-10			ハンマー落下用具	半自動			
							ポンプ	東邦BG-3			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		掘進月日				
										深 (m)	10cmごとの打撃回数		打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 (m)	試験名および結果	深 (m)	試料採取番号					
											0	10								20	30		
18.33	0.30	0.30	表土	暗茶				腐植物を含む(粘性土)		1.15	2	2	2	6	30	6							
17.73	0.60	0.90	崩積土	暗茶				頁岩起源の粘性土、小礫をわずかに混在(粘性土)		1.45	2	1	2	5	30	5							
								岩の形態をほとんど有さない。岩内部まで風化し砂質粘土状を示す。(粘性土)		2.15	2	1	2	5	30	5							
				完全風化頁岩	茶褐				4.50～6.75黄褐(礫混じり土) 岩内部まで風化し岩の形状不鮮明であるがコアは短柱状を示す。4.85m、5.70m付近未風化岩片混在。6.75m～8.00m黄褐 岩内部まで風化しているが短柱状コア(礫混じり土)		2.45	2	2	2	6	30	6						
14.13	3.60	4.50									3.15	2	2	2	6	30	6						
											3.45												
											4.15	3	5	7	15	30	15						
										4.45													
										5.15	8	6	8	22	30	22							
										5.45													
										6.15	7	8	9	24	30	24							
										6.45													
										7.15	5	6	5	16	30	16							
10.63	3.50	8.00	強風化頁岩	茶褐				8.00～9.00m青灰(軟岩) 圧碎再固結状を示しハンマー強打により礫状に分離する。		7.45													
								9.00～10.00m青灰(軟岩) やや風化しているが岩が短柱状コアクラック多くクラックより剥離しクラック表面茶褐色に変色		8.15	16	34		50	20	75							
										8.35													
										9.00	50	7		50	7	214.3							
										9.07													
										10.00	26	24	2	50	12	125							
										10.12													

フジサンプラー株式会社

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります。現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。